

(平成 30 年 4 月試験研究業務月報)

試験研究課題：トウガラシ類用パイプハウスの環境制御技術の開発

研 究

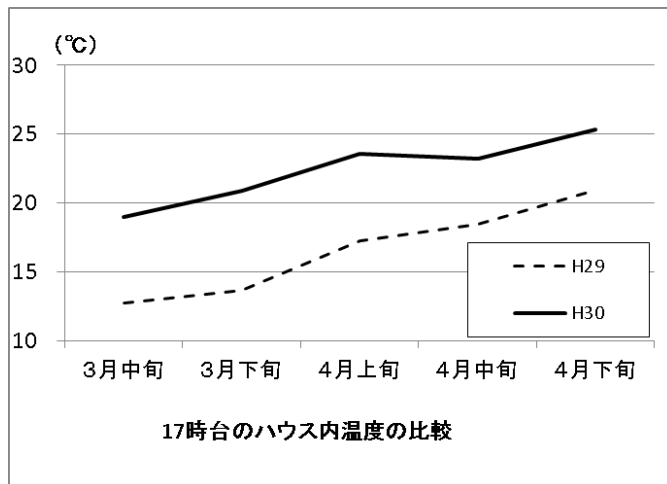
## 万願寺トウガラシのハウス内環境を ICT 機器で測定開始

当センターでは、万願寺トウガラシの熟練生産者の栽培技術を可視化し、新規生産者に伝承するため、山城、中丹地域のハウス 12 棟に温度センサー等を設置し、栽培技術に反映させる ICT（情報通信技術）農業に取り組んでいます。

昨年度までの調査で「15℃から 35℃の範囲で管理すると安定多収になること」、「4 月の 17 時台の温度が高いと出荷量が多いこと」が分かってきました。

そこで、今年度は生産者がスマートフォンでハウスの温度データを確認し、日中は 35℃以下を保つようにハウスを開け、夕方は温度を高め維持するために、早めにハウスを閉める実証活動に取り組んでいます。

今後、過去と本年の出荷量を比較し、温度管理が出荷量に及ぼす影響を解明します。



夕方、早めにハウスを閉めることを呼びかけ、昨年度より 17 時台の気温が上昇しました。

温度データの収集と併せて生育調査を実施しています。

